

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本12月鉱工業生産)

2019/1/31

りそなホールディングス 市場企画部

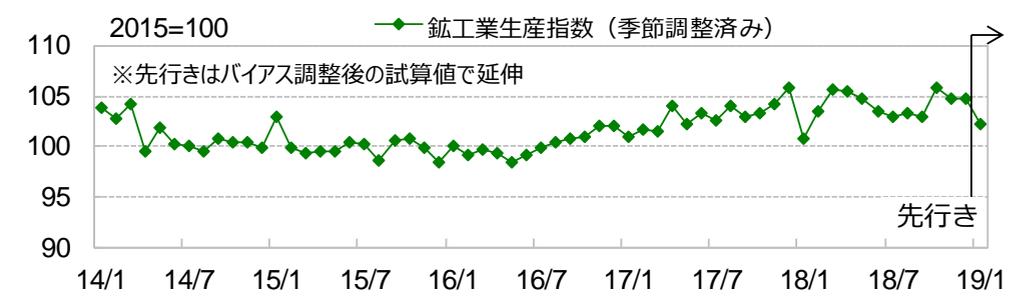


〇概況

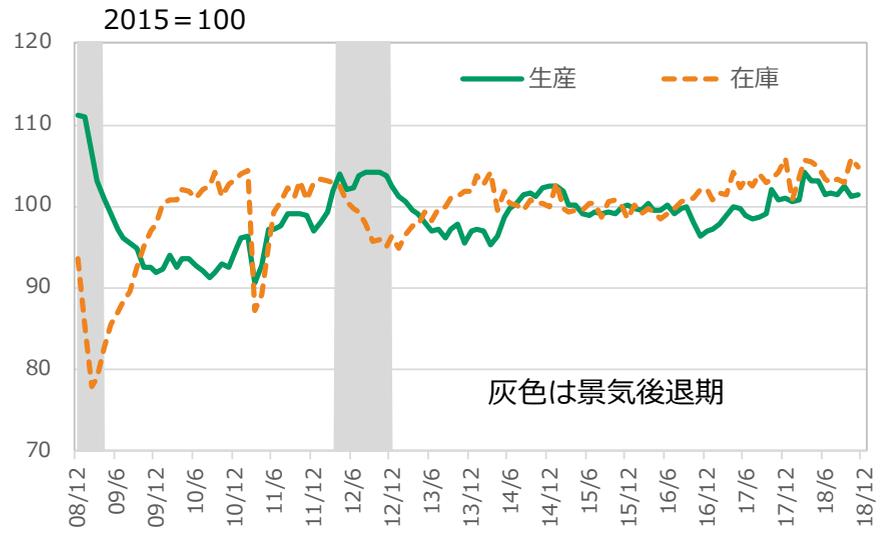
- ◆ 12月鉱工業生産、前月比▲0.1%と前月から低下
- ◆ 基調判断は「緩やかな持ち直し」と据え置き
- ◆ 生産予測調査によると、1月▲0.1%、2月+2.6%の見通し

- ✓ 12月の鉱工業生産は前月比▲0.1%と、前月から小幅に低下。出荷は+0.3%と上昇、在庫は+1.0%と上昇。また、出荷に対する在庫の割合である在庫率は+2.2%と上昇。生産用機械や電子部品・デバイスの生産・出荷が低下し、中国向け輸出が低迷した貿易統計の内容と整合的。中国景気減速や米中貿易摩擦による足元の外需要因が影響して生産も伸び悩みがみられる。
- ✓ 10-12月期は前期比+1.9%と自然災害の影響が強く出た7-9月期の水準から回復した。基調判断は前月の「緩やかな持ち直し」から据え置き。
- ✓ 生産の業種別では、15業種中6業種が低下。化学（除. 医薬品）(▲3.5%)、生産用機械(▲3.0%)、電子部品・デバイス(▲2.6%)などが低下。
- ✓ 出荷の業種別では、15業種中8業種が上昇。輸送機械(+3.6%)、汎用・業務用機械(+3.6%)、石油・石炭製品(+3.0%)などが上昇。
- ✓ 在庫の業種別では、15業種中10業種が上昇。電気機械(+8.8%)、情報通信機械(+7.5%)、汎用・業務用機械(+3.2%)などが上昇。
- ✓ 予測調査は1月▲0.1%、2月+2.6%。ただし予測調査には上方バイアスがあり、経済産業省によるバイアス調整した先行き試算値は1月▲2.3%となる。

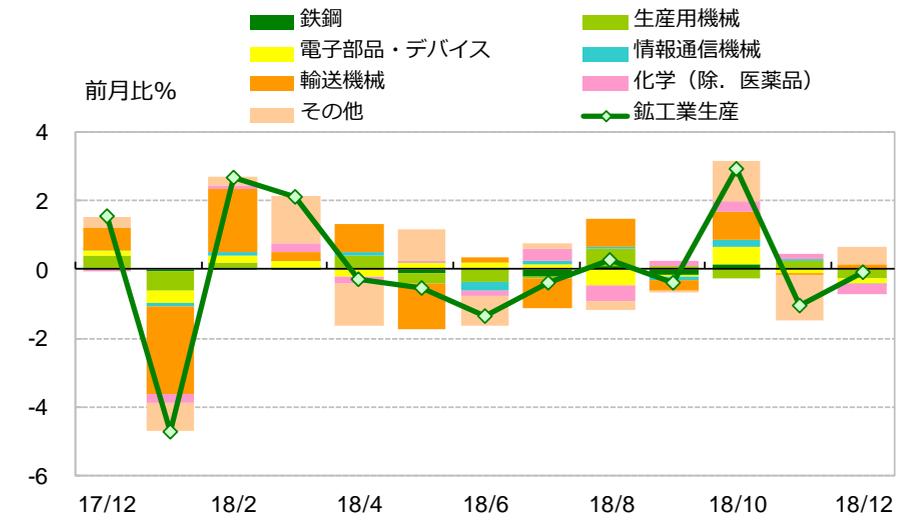
【鉱工業生産（指数）】



【生産と在庫の推移】



【鉱工業生産（寄与度）】



【出所】IN情報センター

◎注意事項
 本資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。